

市内経営動向調査

令和元年度1月～3月期（第4四半期）

- ① 調査の時期 令和2年4月 ② 調査の期間 令和2年1月～令和2年3月
③ 調査対象企業 280社 ④ 回収状況 169社（回答率60.6%）
⑤ 調査内容 建設業、製造業、卸・小売業、サービス業を営む企業に対して、佐世保の景況感、
業界の景況感、前年同期比売上動向（H31年1月～3月）、前年同期比採算動向
（H31年1月～3月）を調査

※D I = ディフュージョン・インデックスとは《「増加・好転の割合」－「減少・悪化の割合」》

【総括】

○全業種合算

全業種合算でのD I 値は「市内の景況感▲61.3(前回比-23.8)」、「市内業界の景況感▲52.1(-16.1)」、「前年同期比の売上動向▲48.5(-25.0)」、「前年同期比の採算動向▲41.9(-14.3)」と前回調査に引き続き全ての項目で悪化する結果となった。前回調査では主な悪化要因として消費増税が挙げられていたが本調査ではコロナウイルスに言及する意見が数多く寄せられた。特に飲食、宿泊業を中心とするサービス業、卸・小売業は自粛やイベント中止等の影響を強く受けて客足が激減している様子である。他業種でも同様に景況感の悪化が見られ全業種合算での市内景況感は現行の4項目調査を開始したH20以来最悪の悪化幅を記録した。
全国的にも外出自粛や消費マインドの低下、イベント等の中止などによる一段の売上減少の影響が見られたサービス業や小売業で景況感が大幅に悪化。また、新型コロナウイルスの収束が見通せない中、生産・設備投資などの計画見直しやサプライチェーンの停滞による部材等の調達難など、生産活動へも影響が拡大している。

○佐世保市内の景況感

D I 値は、建設業▲34.7(前回比-14.1)、製造業▲57.9(-13.8)、卸・小売業▲82.5(-23.5)、サービス業▲75.6(-46.2)と全業種で悪化。特にサービス業は過去最悪の悪化幅となっているがこれに加え、他3項目でも過去最悪の悪化幅を更新し、採算動向においては過去最低値を記録している（H20～）。卸・小売業も採算動向において過去最低値を記録するなど、市内の急激な経営環境の悪化が推察される。

○市内業界の景況感

D I 値は、建設業▲18.4(前回比-9.5)、製造業▲50.0(-11.8)、卸・小売業▲78.0(-15.5)、サービス業▲68.3(-30.1)と全業種で悪化した。卸・小売業、サービス業からはコロナウイルスによる客足離れや売上減少に関するコメントの比重が高い一方で製造業、建設業からは仕入れ難や物流ルートの見直し、工事進捗を懸念するコメントも見受けられ、感染拡大の影響は業種ごとに範囲と質が異なっている現状が窺える。

○前年同期比の売上動向

D I 値は、建設業▲20.4(前回比-24.9)、製造業▲47.4(-15.0)、卸・小売業▲68.3(-13.3)、サービス業▲63.4(-48.7)と全業種で悪化した。卸・小売業、サービス業からは外出自粛や、イベント中止等の影響を指摘する声が多く、売上に直接的に影響を受けている傾向がある。資金繰りへの不安や雇用調整助成金の検討に言及する企業もこの2業種が多く、厳しい状況が窺える。

○前年同期比の採算動向









































D I 値は、建設業▲6.3(前回比+2.6)、製造業▲42.1(-9.8)、卸・小売業▲62.5(-8.7)、サービス業▲63.4(-45.8)と建設業が改善し、製造業、卸・小売業、サービス業において悪化した。今回の調査では全体的に悪化傾向にある中、建設業において採算が微増している。企業からは公共工事の受注等の前向きな声も聞かれると共に人手不足に関する声が過去の調査より少なかった。売上が減少していることも考慮すると、これまで上昇傾向であった人件費が仕事量の減少により一服した、外注工事に頼っていた仕事が減少した等の可能性も考えられる。

①佐世保の景況感について				②市内業界の景況感				③昨年同期比の売上の動向は？				④昨年同期比の採算動向は？			
全業種 DI値 ▲ 61.3				全業種 DI値 ▲ 52.1				全業種 DI値 ▲ 48.5				全業種 DI値 ▲ 41.9			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	1	0.59%	0.6	1.好転	2	1.20%	1.2
2.良い	2	1.19%	1.2	2.良い	6	3.55%	3.6	2.やや増加	13	7.69%	7.7	2.やや好転	11	6.59%	6.6
3.普通	61	36.31%	36.3	3.普通	69	40.83%	40.8	3.変わらない	59	34.91%	34.9	3.変わらない	71	42.51%	42.5
4.悪い	76	45.24%	45.2	4.悪い	67	39.64%	39.6	4.やや減少	52	30.77%	30.8	4.やや悪化	46	27.54%	27.5
5.大変悪い	29	17.26%	17.3	5.大変悪い	27	15.98%	16.0	5.減少	44	26.04%	26.0	5.悪化	37	22.16%	22.2
建設業 DI値 ▲ 34.7				建設業 DI値 ▲ 18.4				建設業 DI値 ▲ 20.4				建設業 DI値 ▲ 6.3			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	1	2.04%	2.0	1.好転	1	2.08%	2.1
2.良い	1	2.04%	2.0	2.良い	3	6.12%	6.1	2.やや増加	4	8.16%	8.2	2.やや好転	5	10.42%	10.4
3.普通	30	61.22%	61.2	3.普通	34	69.39%	69.4	3.変わらない	29	59.18%	59.2	3.変わらない	33	68.75%	68.8
4.悪い	17	34.69%	34.7	4.悪い	12	24.49%	24.5	4.やや減少	13	26.53%	26.5	4.やや悪化	7	14.58%	14.6
5.大変悪い	1	2.04%	2.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	2	4.08%	4.1	5.悪化	2	4.17%	4.2
製造業 DI値 ▲ 57.9				製造業 DI値 ▲ 50.0				製造業 DI値 ▲ 47.4				製造業 DI値 ▲ 42.1			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	1	2.63%	2.6
2.良い	1	2.63%	2.6	2.良い	2	5.26%	5.3	2.やや増加	4	10.53%	10.5	2.やや好転	3	7.89%	7.9
3.普通	14	36.84%	36.8	3.普通	15	39.47%	39.5	3.変わらない	12	31.58%	31.6	3.変わらない	14	36.84%	36.8
4.悪い	18	47.37%	47.4	4.悪い	17	44.74%	44.7	4.やや減少	12	31.58%	31.6	4.やや悪化	12	31.58%	31.6
5.大変悪い	5	13.16%	13.2	5.大変悪い	4	10.53%	10.5	5.減少	10	26.32%	26.3	5.悪化	8	21.05%	21.1
卸・小売業 DI値 ▲ 82.5				卸・小売業 DI値 ▲ 78.0				卸・小売業 DI値 ▲ 68.3				卸・小売業 DI値 ▲ 62.5			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	0	0.00%	0.0	2.良い	0	0.00%	0.0	2.やや増加	3	7.32%	7.3	2.やや好転	1	2.50%	2.5
3.普通	7	17.50%	17.5	3.普通	9	21.95%	22.0	3.変わらない	7	17.07%	17.1	3.変わらない	13	32.50%	32.5
4.悪い	23	57.50%	57.5	4.悪い	21	51.22%	51.2	4.やや減少	16	39.02%	39.0	4.やや悪化	14	35.00%	35.0
5.大変悪い	10	25.00%	25.0	5.大変悪い	11	26.83%	26.8	5.減少	15	36.59%	36.6	5.悪化	12	30.00%	30.0
サービス業 DI値 ▲ 75.6				サービス業 DI値 ▲ 68.3				サービス業 DI値 ▲ 63.4				サービス業 DI値 ▲ 63.4			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	0	0.00%	0.0	2.良い	1	2.44%	2.4	2.やや増加	2	4.88%	4.9	2.やや好転	2	4.88%	4.9
3.普通	10	24.39%	24.4	3.普通	11	26.83%	26.8	3.変わらない	11	26.83%	26.8	3.変わらない	11	26.83%	26.8
4.悪い	18	43.90%	43.9	4.悪い	17	41.46%	41.5	4.やや減少	11	26.83%	26.8	4.やや悪化	13	31.71%	31.7
5.大変悪い	13	31.71%	31.7	5.大変悪い	12	29.27%	29.3	5.減少	17	41.46%	41.5	5.悪化	15	36.59%	36.6

市内経営動向調査

令和1年度第4四半期(令和2年1月～令和2年3月) DI景況感

※DI値は令和1年度第3四半期(令和1年10月～令和1年12月)と比較

	佐世保の景況感	業界の景況感	前年同期比売上げ動向	前年同期比採算動向
全業種	DI値 ▲ 37.5 ⇒ ▲ 61.3 ↗  ⇒  ↓-23.8	DI値 ▲ 35.9 ⇒ ▲ 52.1 ⇒  ⇒  ↓-16.1	DI値 ▲ 23.5 ⇒ ▲ 48.5 ↘  ⇒  ↓-25.0	DI値 ▲ 27.6 ⇒ ▲ 41.9 ↘  ⇒  ↓-14.3
建設業	DI値 ▲ 20.0 ⇒ ▲ 34.7 ↗  ⇒  ↓-14.7	DI値 ▲ 8.9 ⇒ ▲ 18.4 ↗  ⇒  ↓-9.5	DI値 4.4 ⇒ ▲ 20.4 ↘  ⇒  ↓-24.9	DI値 ▲ 8.9 ⇒ ▲ 6.3 ↗  ⇒  ↑2.6
製造業	DI値 ▲ 44.1 ⇒ ▲ 57.9 ↗  ⇒  ↓-13.8	DI値 ▲ 38.2 ⇒ ▲ 50.0 ↗  ⇒  ↓-11.8	DI値 ▲ 32.4 ⇒ ▲ 47.4 ↘  ⇒  ↓-15.0	DI値 ▲ 32.4 ⇒ ▲ 42.1 ↘  ⇒  ↓-9.8
卸・小売業	DI値 ▲ 59.0 ⇒ ▲ 82.5 ↘  ⇒  ↓-23.5	DI値 ▲ 62.5 ⇒ ▲ 78.0 ↘  ⇒  ↓-15.5	DI値 ▲ 55.0 ⇒ ▲ 68.3 ↘  ⇒  ↓-13.3	DI値 ▲ 53.8 ⇒ ▲ 62.5 ↘  ⇒  ↓-8.7
サービス業	DI値 ▲ 29.4 ⇒ ▲ 75.6 ↘  ⇒  ↓-46.2	DI値 ▲ 38.2 ⇒ ▲ 68.3 ↘  ⇒  ↓-30.1	DI値 ▲ 14.7 ⇒ ▲ 63.4 ↘  ⇒  ↓-48.7	DI値 ▲ 17.6 ⇒ ▲ 63.4 ↘  ⇒  ↓-45.8



DI100～81



DI80～41



DI40～11



DI10～▲10



DI▲11～▲40

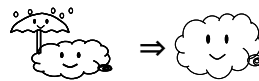


DI▲41～▲80



DI▲81～▲100

DI値 ▲30.0 ⇒ ▲10.0



↗(平成21年度第1四半期～令和元年度第4 四半期の傾向)



(令和元年度第3四半期と令和元年度4四半期との比較)

【概 況】

(全業種) ※ () 内は前回調査値

① 市内の景況感について

「大変良い」 0.0% (0.0%)、「良い」 1.2% (0.7%)、「普通」 36.3% (61.2%)、「悪い」 45.2% (38.2%)

「大変悪い」 17.3% (0.0%) となり、DIは、▲61.3(▲37.5)と23.8ポイント悪化した。

業種別DIでは、全業種がマイナスに作用した。

② 市内における業界の景気動向について

「大変良い」 0.0% (0.0%)、「良い」 3.6% (2.6%)、「普通」 40.8% (58.8%)、「悪い」 39.6% (37.3%)

「大変悪い」 16.0% (1.3%) となり、DIは、▲52.1(▲35.9)と16.1ポイント悪化した。

業種別DIでは、全業種がマイナスに作用した。

③ 前年同期比(令和2年1月~3月)の売上動向について

「増加」 0.6% (2.6%)、「やや増加」 7.7% (13.7%)、「変わらない」 34.9% (43.8%)、「やや減少」 30.8% (30.1%)、

「減少」 26.0% (9.8%) となり、DIは、▲48.5(▲23.5)と25.0ポイント悪化した。

業種別DIでは、全業種マイナスに作用した。

④ 前年同期比(令和2年1月~3月)の採算動向について

「好転」 1.2% (1.3%)、「やや好転」 6.6% (10.5%)、「変わらない」 42.5% (48.7%)、「やや悪化」 27.5% (32.9%)、

「悪化」 22.2% (6.6%) となり、DIは、▲41.9(▲27.6)と14.3ポイント悪化した。

業種別DIでは、全業種がマイナスに作用した。

《業種別概況》 ※（ ）内は前回調査値

(建設業) 回答：78社中49社、回答率62.8%

- 市内の景況感については、「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」2.0%(0.0%)、「普通」61.2%(80.0%)
「悪い」34.7%(20.0%)、「大変悪い」2.0%(0.0%)となり、D Iは、▲34.7(▲20.0)と
14.7ポイント悪化した。
- 市内業界の景況感については、「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」6.1%(6.7%)、「普通」69.4%(77.8%)
「悪い」24.5%(15.6%)、「大変悪い」0.0%(0.0%)となり、D Iは、▲18.4(▲8.9)と
9.5ポイント悪化した。
- 前年同期比の売上げは、「増加」2.0%(8.9%)、「やや増加」8.2%(11.1%)、「変わらない」59.2%(64.4%)
「やや減少」26.5%(13.3%)、「減少」4.1%(2.2%)となり、D Iは、▲20.4(4.4)と
24.9ポイント悪化した。
- 前年同期比の採算動向は、「好転」2.1%(4.4%)、「やや好転」10.4%(4.4%)、「変わらない」68.8%(73.3%)
「やや悪化」14.6%(15.6%)、「悪化」4.2%(2.2%)となり、D Iは、▲6.3(▲8.9)と
2.6ポイント改善した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売り上げ動向

好転要因では、公共工事受注などの回答があった。
悪化要因では、受注減、工期の延期などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好調要因では、公共工事受注などの回答があった
悪化要因では、売上高の減少などの回答があった。

○経営上の問題・課題

若年労働者の不足、従業員の高齢化が指摘されるとともに、新型コロナウイルスの感染防止を意識する声が寄せられた。

(製造業) 回答：64社中38社、回答率59.4%

- 市内の景況感については、「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」2.6%(0.0%)、「普通」36.8%(55.9%)
「悪い」47.4%(44.1%)、「大変悪い」13.2%(0.0%)となり、D Iは、▲57.9(▲44.1)と
13.8ポイント悪化した。
- 市内業界の景況感については、「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」5.3%(0.0%)、「普通」39.5%(61.8%)
「悪い」44.7%(38.2%)、「大変悪い」10.5%(0.0%)となり、D Iは、▲50.0(▲38.2)と
11.8ポイント悪化した。
- 前年同期比の売上上げは、「増加」0.0%(0.0%)、「やや増加」10.5%(14.7%)、「変わらない」31.6%(38.2%)
「やや減少」31.6%(35.3%)、「減少」26.3%(11.8%)となり、D Iは、▲47.4(▲32.4)と
15.0ポイント悪化した。
- 前年同期比の採算動向は、「好転」2.6%(0.0%)、「やや好転」7.9%(11.8%)、「変わらない」36.8%(44.1%)
「やや悪化」31.6%(38.2%)、「悪化」21.1%(5.9%)となり、D Iは、▲42.1(▲32.4)と
9.8ポイント悪化した。

《主な自由意見》

- 昨年同期の売上動向
好転要因では、別地区への進出や、公共工事受注などの回答があった。
悪化要因では、コロナウイルスによる影響などの回答があった。
- 昨年同期の採算動向
好転要因では 売上増加や経費削減、材料価格の下落などの回答があった。
悪化要因では、コロナウイルスによる影響や人件費上昇などの回答があった。
- 経営上の問題・課題
資金繰り、人員不足を指摘する声やコロナウイルスにより見通しが立たないといった声が寄せられた。

(卸・小売業) 回答：73社中41社、回答率56.2%

- 市内の景況感については、「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」0.0%(0.0%)、「普通」17.5%(41.0%)
「悪い」57.5%(59.0%)、「大変悪い」25.0%(0.0%)となり、DIは、▲82.5(▲59.0)と
23.5ポイント悪化した。
- 市内業界の景況感については、「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」0.0%(0.0%)、「普通」22.0%(37.5%)
「悪い」51.2%(57.5%)、「大変悪い」26.8%(5.0%)となり、DIは、▲78.0(▲62.5)と
15.5ポイント悪化した。
- 前年同期比の売上げは、「増加」0.0%(0.0%)、「やや増加」7.3%(7.5%)、「変わらない」17.1%(30.0%)
「やや減少」39.0%(42.5%)、「減少」36.6%(20.0%)となり、DIは、▲68.3(▲55.0)と
13.3ポイント悪化した。
- 前年同期比の採算動向は、「好転」0.0%(0.0%)、「やや好転」2.5%(7.7%)、「変わらない」32.5%(30.8%)
「やや悪化」35.0%(48.7%)、「悪化」30.0%(12.8%)となり、DIは、▲62.5(▲53.8)と
8.7ポイント悪化した。

《主な自由意見》

- 昨年同期の売上
好転要因では、コロナ問題による買い占めやパソコンOSサポート終了による買い替え特需といった回答があった。
悪化要因では、コロナウイルスによる外出自粛といった回答が多く、他コロナによる商材不足やホテル飲食業の売上減（ビッフェバイキング宴会の中止）などの回答があった。
- 昨年同期の採算動向
好転要因では売上増などの回答があった。
悪化要因では、コロナウイルスによる外出自粛や仕入難等の回答があった。
- 経営上の問題・課題
人手不足、採用難といった声に加えコロナ禍の収束見通しが立たないことや回転資金不足を心配する声が寄せられた。

(サービス業) 回答：65社中41社、回答率63.1%

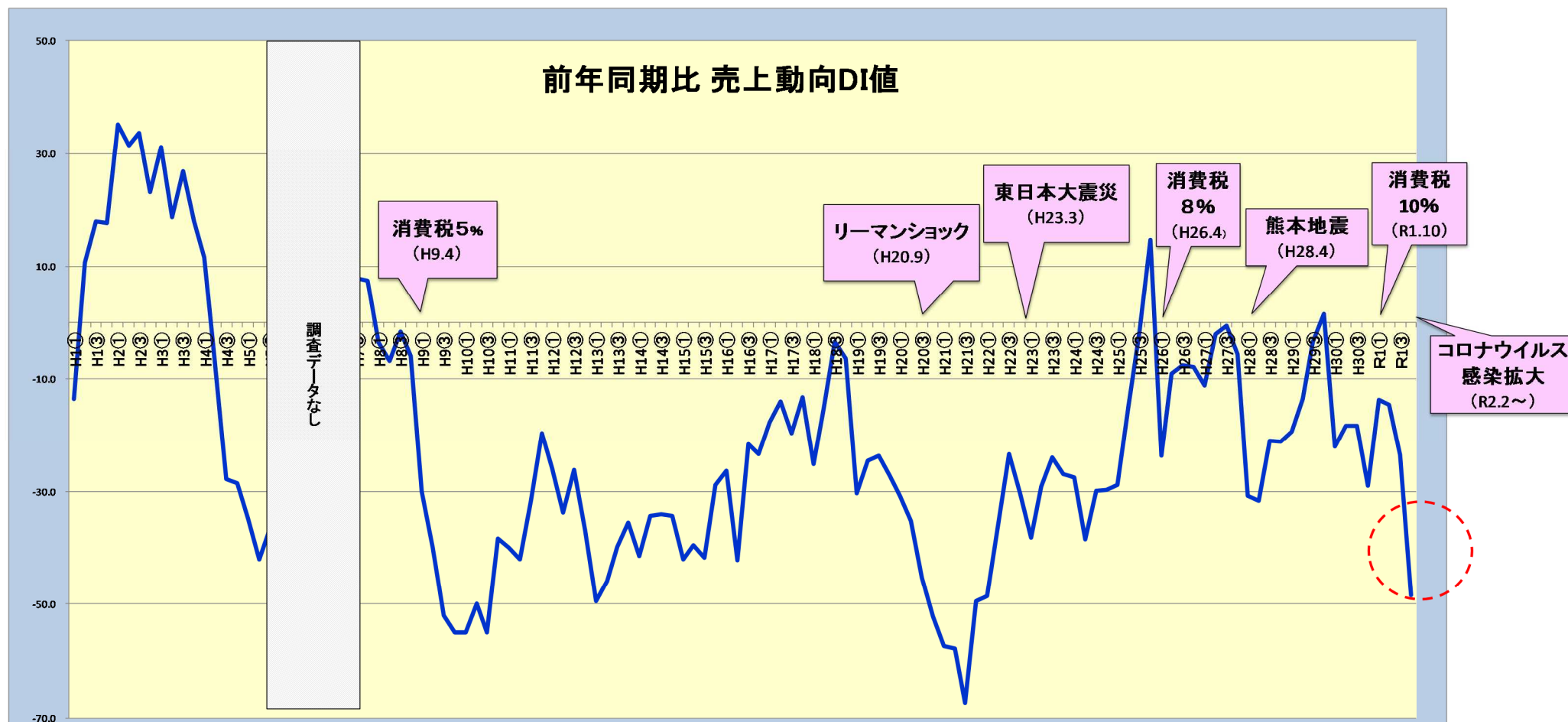
- 市内の景況感については、「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」0.0%(2.9%)、「普通」24.4%(64.7%)
「悪い」43.9%(32.4%)、「大変悪い」31.7%(0.0%)となり、D Iは、▲75.6(▲29.4)と
46.2ポイント悪化した。
- 市内業界の景況感については、「大変良い」0.0%(0.0%)、「良い」2.4%(2.9%)、「普通」26.8%(55.9%)
「悪い」41.5%(41.2%)、「大変悪い」29.3%(0.0%)となり、D Iは、▲68.3(▲38.2)と
30.1ポイント悪化した。
- 前年同期比の売上上げは、「増加」0.0%(0.0%)、「やや増加」4.9%(23.5%)、「変わらない」26.8%(38.2%)
「やや減少」26.8%(32.4%)、「減少」41.5%(5.9%)となり、D Iは、▲63.4(▲14.7)と
48.7ポイント悪化した。
- 前年同期比の採算動向は、「好転」0.0%(0.0%)、「やや好転」4.9%(20.6%)、「変わらない」26.8%(41.2%)
「やや悪化」31.7%(32.4%)、「悪化」36.6%(5.9%)となり、D Iは、▲63.4(▲17.6)と
45.8ポイント悪化した。

《主な自由意見》

- 昨年同期の売上
好転要因では、他の代理店と合併との回答があった。
悪化要因では、コロナウイルスによる来客減、売上減、イベントの中止といった回答が多くあった。
- 昨年同期の採算動向
好転要因では合併で数字を増額といった回答があった。
悪化要因では、コロナウイルスによる売上減や感染防止に伴うコスト増、人件費上昇などの声が寄せられた。
- 経営上の問題・課題
飲食・宿泊業を中心に大幅な売上減等の深刻な状況を伝える声が寄せられている。

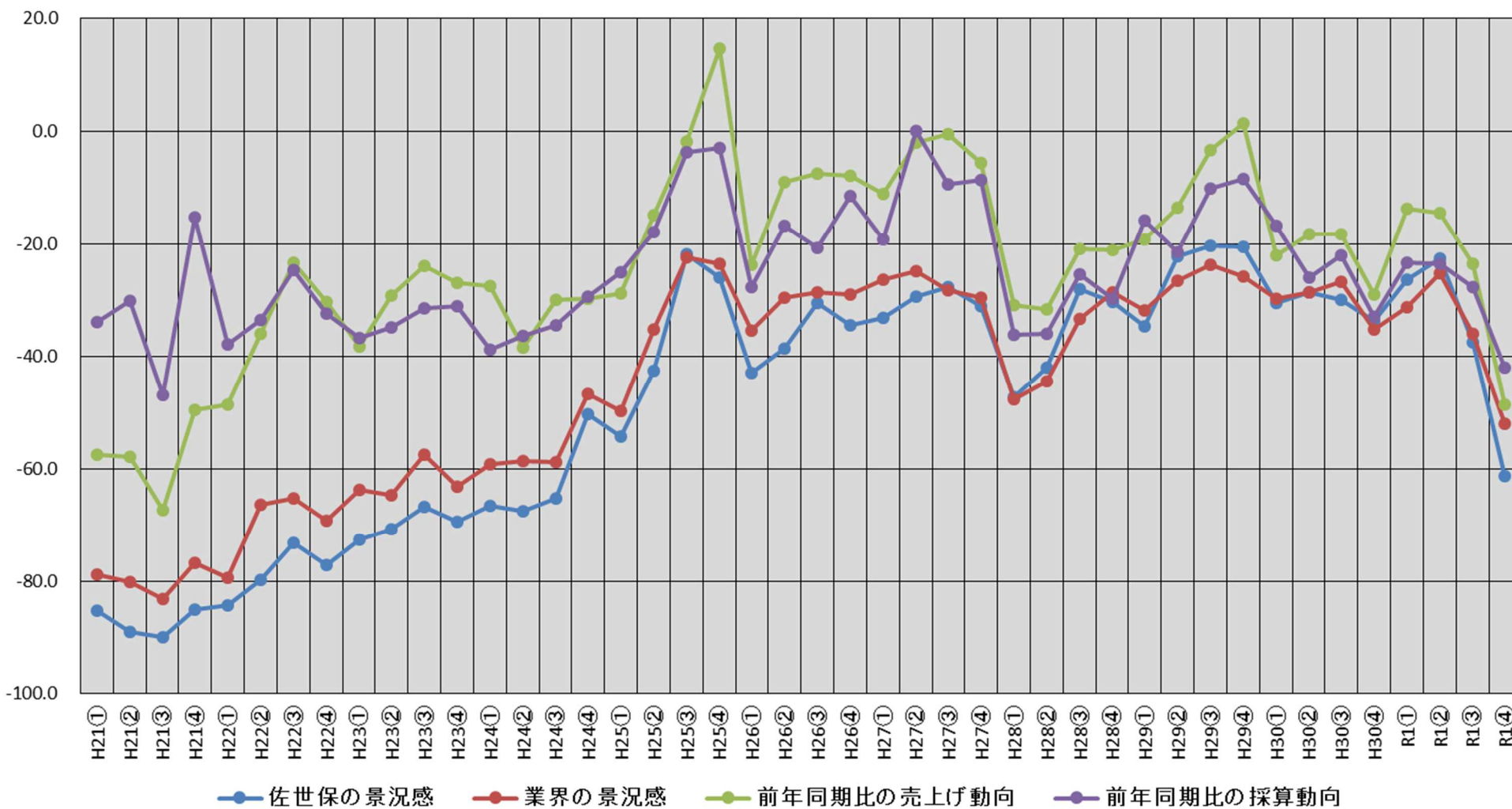
以上

1-1 前年同期比売上動向DI値の推移（平成元年～）

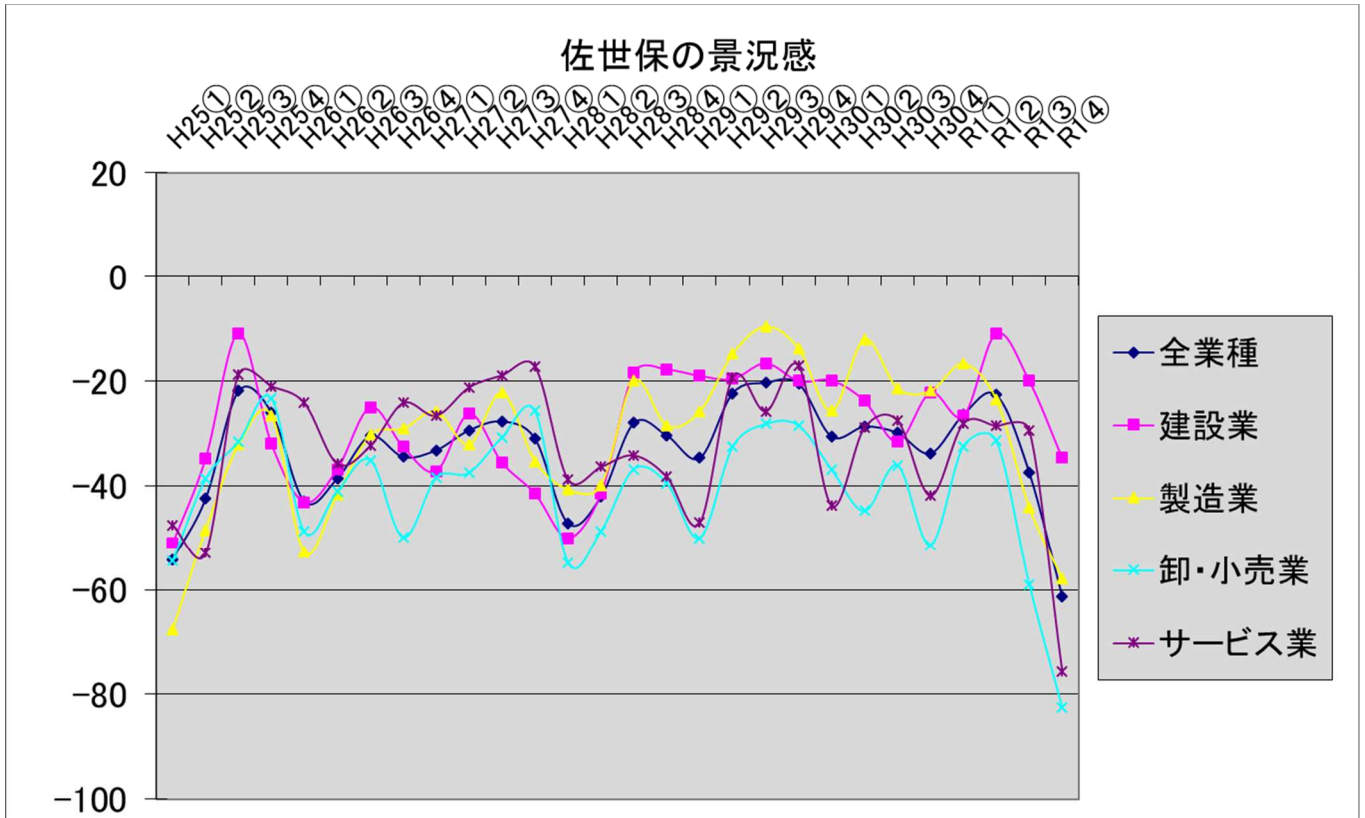


図表 1-2 【全業種D I 値の推移（平成 21 年～）】

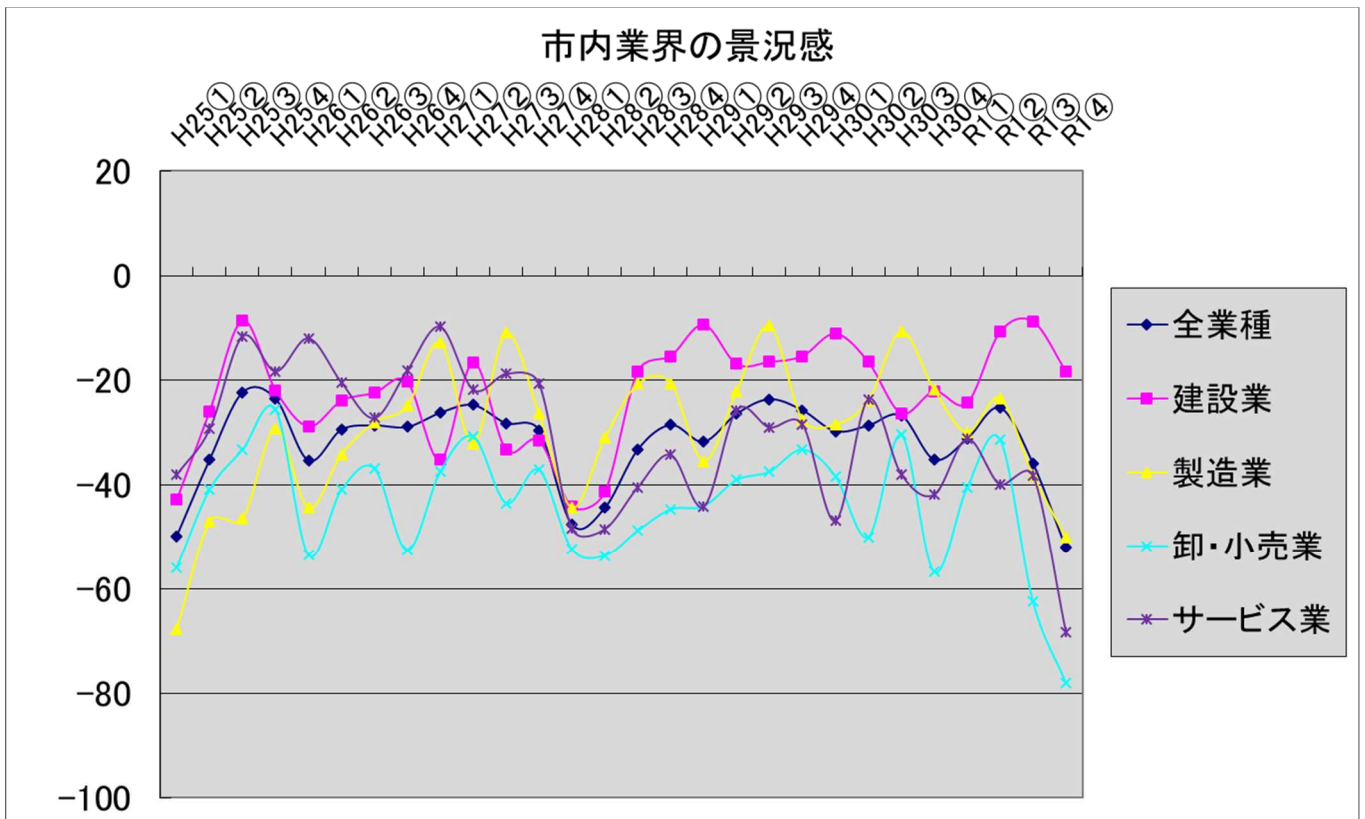
全業種の景況値の推移



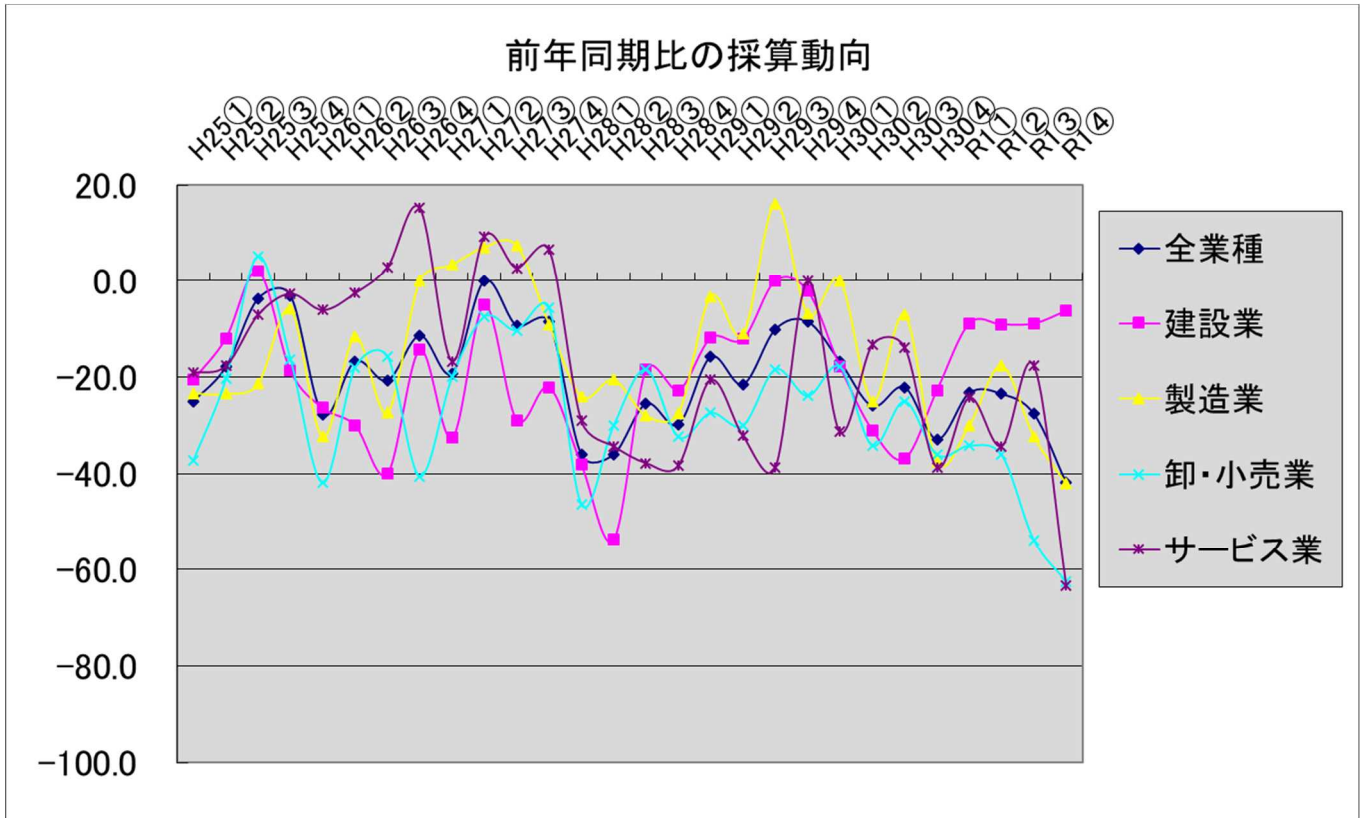
図表 1 - 3 【佐世保の景況感の推移（平成 25 年～）】



図表 1 - 4 【市内業界の景況感の推移（平成 25 年～）】



図表 1 - 5 【昨年同期比の売上動向の推移（平成 25 年～）】



図表 1 - 6 【昨年同期比の採算動向の推移（平成 25 年～）】

